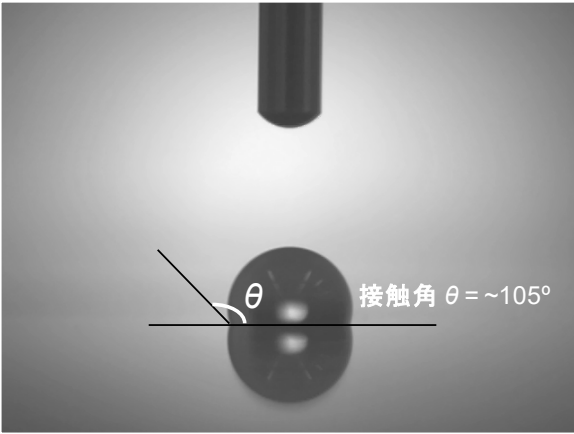
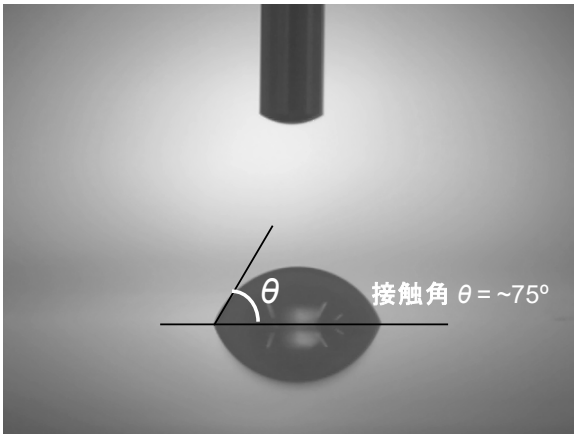
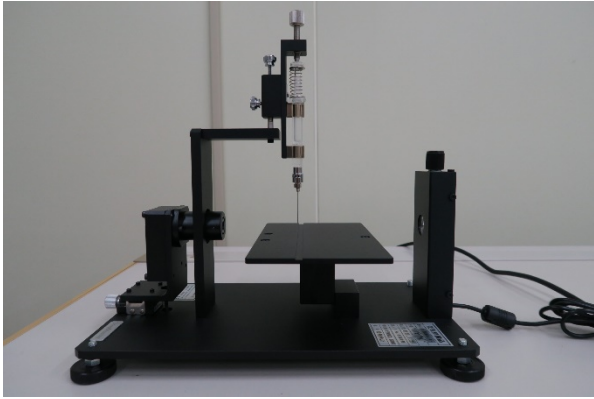


接触角計による濡れ性（親水性）評価

事例	<p>プラズマ処理前後の樹脂表面の濡れ性（親水性）を接触角計により評価しました。</p>	
試験内容 と結果	<p>接触角計は材料表面に液滴を適下し、その接触角を測定することにより、材料表面の濡れ性を評価する装置です。</p> <p>汎用樹脂として身の回りの多くの製品に使用されているポリプロピレンの表面をプラズマ処理し、接触角計により液滴の広がりの変化を観察しました。プラズマ処理を実施することにより、処理前(図1)に比べ、処理後(図2)の液滴が広がっており、ポリプロピレン表面の濡れ性(親水性)が向上したことがわかります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>図 1 : プラズマ処理前の液滴の断面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図 2 : プラズマ処理後の液滴の断面図</p> </div> </div>	
使用装置	<p>接触角計（平成28年度導入）</p> 	<p>メーカー名: 協和界面科学株式会社 型式: DMe-211</p> <p>【機器の概要】 固体表面に滴下した液滴の接触角の測定ができる装置です。</p>
使用料	<p>その他簡便な試験測定装置・器具</p>	<p>730円／時間</p>